

●/人 種いもが届いたら・・・

下記の事項を必ず実施して、保管してください。

**到着後は、速やかに
開封し、いもを拡げて
中身を確認してください。**

**すぐに
開封!!**



傷み(シミ)や腐敗を発見したら、
すぐに取り除いてください。

発芽している場合

●2℃～3℃で保管し芽の伸長を抑えます。ただし、2℃を下回ると萌芽不良につながりますので注意します。

●芽が1cm以上伸長していたら、芽を手で掻き、低温で保管してください。

※一般的に芽掻きは2～3回までは良いですが、それ以上になると初期生育や収量に悪影響が出ると言われています。

●キタアカリ、メークインなどの品種は休眠期間が短く、早い時間に発芽する場合がありますが、正常です。



表皮にカビが発生している場合

●傷口や表面に生えているカビは、種いもに生えているのではなく、表面に付着した土などに生えており、生育に影響しません。

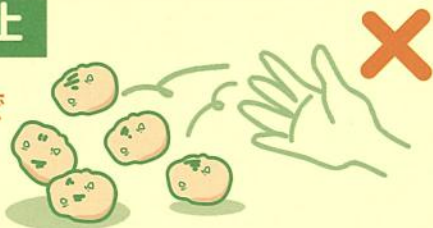
●カビは乾燥や浴光によって消滅します。通気性のよい容器に移し替えたり、浴光催芽を行うことをおすすめします。

ただし、無理に除去する必要はありません。



割れ・傷の防止

投げたりしないで丁寧に扱ってください。



黒色心腐防止

通気の良いところに保管し、ビニールシート等は絶対にかけないでください。



発芽防止・品質保持

・保管中は高温にならないよう、また、高く積み上げないで保管してください。

・保管に適した温度は2℃～3℃ですので、極力涼しいところに保管してください。



事故処理

事故処理に必要なとなりますので、合格証票は**最低でも6月末まで**必ず保管してください。

大切に保管してください。

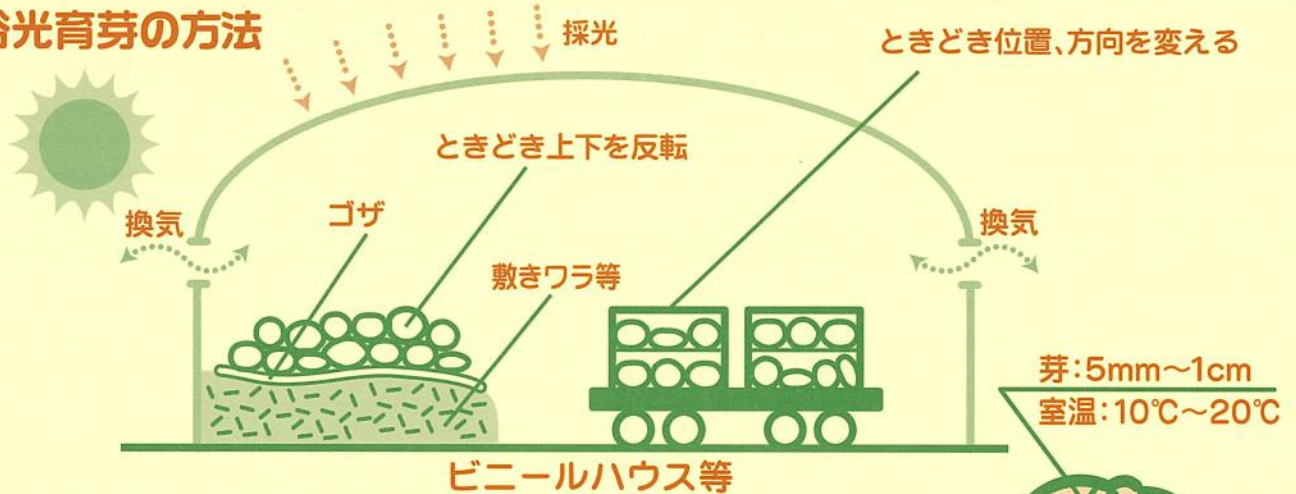


種いも植付けにあたって

種子消毒・浴光育芽

- 植付け前に種いも消毒を行うことによりそうか病や黒あざ病の発生が防止できます。
- 浴光育芽で①欠株防止、②株の生育のばらつきを防止でき、③植付け後の出芽、初期生育が早まり、④安定収量が得られます。

■浴光育芽の方法



- ① 浴光しながら10~20℃程度で、5mm~1cmくらいの丈夫な芽を育てます。
- ② 温度や品種によって育芽の期間は違いますが、3~4週間必要です。
- ③ 25℃以上の高温が続くと黒色心腐が発生しますので、注意してください。
- ④ また夜間温度が下がる場合は、凍結しないように注意して保管してください。

切り方

切り方	半切り	3つ切り
切断例		
種いもの大きさ	M(60~120g)	L(120~190g)

- ① 育芽の完了した種いもは、芽を見て一片の重さが30~60g程度で2~3個の芽がつくように切断してください。
- ② 切断は原則として頂部から基部に、タテ切りとし、必ず芽がつくように切断してください。
- ③ ゴザ等で覆って2~3日置き、切り口をコルク化させてください。

※浴光催芽をして丈夫な芽を育ててから切断してください。

植付け

- ① 適正な土壌pHを保つようにし、3.3㎡あたり化成肥料2~3握りばらまき、30cm程度深く耕します。
- ② ジャがいもはナス科なので、ナス・ピーマン・トマトなどの同じナス科の後に植えると連作障害を起こし、うまく育たないので注意してください。
- ③ 種いもは畝幅80cm程にし、切り口を下にして畝に約30cm間隔で植付け、5cmの深さに土を被せます。伸長後、土寄せ(培土)をします。植付け場所は日当たりが良く、水はけの良い土壌が適します。